

なかま

鹿も生き 我も生かされ 年の暮れ
去年今年 めくりてなどか 懐かしき

今日の予定

学芸会 12:00～・学習発表会 13:40～

本校の生徒・保護者ではない方も見学が可能です。事務所で見学者用の名札を受け取ってから、発表会場に入ることができます。全体の終了時刻は16:25を予定しています（現地解散です）。

今後の行事予定

12月15日 燦々プロジェクト講演会

1月5日 12日 書き初め

1月12日 書き初め展示会、

Pコース、高等部説明会

事務所は、年末22日以降は26日27日に業務を行い、新年は3日から開始しますのでよろしくお願い致します。

小学部1年 「しらせたいな、見せたいな」(2)

わたしは、ぬいぐるみのパンダをもっています。わたしのパンダは、えさをすぐたべます。スイッチをおすとすぐたべます。目はまっくらです。さわるとすぐくふわふわです。 キャロル キアナ

おうちにチョコといういぬのペットがいます。けのいろはしろとちゃいろです。さわるとやわらかいです。めのいろは、くろです。めのかたちは、まるいかたちです。チョコは、9さいです。

むらお ねね

おうちには、うさぎのみみがいます。みみは、ちゃいろとしろです。さわるとふわふわです。いつもいっしょにねています。おくちは、ほんとかわいんです。

ぬまた ゆき

ぼくは、シャークというぬいぐるみをもっています。すいぞくかんでかいました。それからまいにちいっしょにねています。 きかわ ともき

書き初めへのご協力をお願い

書き初めの実施に当たり、小学生以上のクラス（補小1を除く）のご協力を、今年度もよろしくお願い致します。その内容の一つはシート敷きとその片付け（はじめと終わりの赤字のクラス）と表装作業（全クラス）です。もう一つは展示作業（有志の方へお願い。1月19日11時30分から）です。展示作業は短時間で終了します。

書初め予定 「5日210教室；1・2校時P中高、3校時J1.3、4校時J4.4A；5日302教室；1校時P小低、2校時P小高、3・4校時高」 「12日302教室：1校時中、2校時小5・6、3校時小4、4校時小3、201教室小2」

プリンストン日本語学校新聞



平成25年度 No.29号

平成25年12月8日

文責 長尾重範 nagao@pcjls.org

『化石燃料と私達』

小野雅之

皆さん、化石燃料と言う言葉を聞いたことがありますか？化石燃料は実は私達の生活には無くてはならない物で、今ある社会はそれによって築かれて来ました。化石とは辞書では地質時代に生息した生物もしくはその活動の痕跡を指すとあります。化石燃料は大昔に生息した生物が長い年月を経て化石化し、石炭、石油、天然ガスとなり今私達の生活に役立ってくれています。石油は私達が乗っている車を走らせ、天然ガスは家を暖めてくれるのでその価値が分るかと思います。私達の暮らしを明るくして、家電を作動させる電気は石炭や天然ガス等を燃やして発電しています。その化石燃料を私達が使えよう、今も世界中でその採掘が活発に行われています。

ただ全てがバラ色ではありません。私達が知っておかなくてはいけない事があります。化石燃料は化石ですから新しく作られないので確実に使うだけ減っていきます。私が幼い頃の日本の家庭には電気製品と言えば電球、ラジオ、蓄音機ぐらいしかありませんでした。母はホウキで掃除シタライと洗濯板で洗濯していました。自家用車もありませんでした。それが、私が小学生の頃には掃除機、洗濯機、テレビ、冷蔵庫、と家電がすごい勢いで増えて行き、今では車を個人が運転し、携帯で世界の情報が即座に見られるとても便利な世界になりました。統計を見ますと世界のエネルギー消費量はこの60年間で約5.5倍に増えました。これは世界の人口がその間約2.8倍増えたことでもあります。車や電気製品を使うことによって一人一人の消費量が大きく増えたことにあります。そのためこの60年間で簡単に採掘できる化石燃料の半分は使われてしまったと言われていています。これからその使用量は人口が増え、発展途上国の需要もさらに伸びるのでこれまで以上に増え続け、次の60年間で石油はほとんど無くなってしまふという予想もされています。これは皆さんの生涯に起きる事ですのでそんなに遠い未来の話ではありません。又、化石燃料を燃やすことによって起きる地球温暖化現象が最近世界中で起こっている異常気象（暴雨、暴風、竜巻、猛暑等）の原因と言われています。地球温暖化現象はさらに悪化し、異常気象はこれからも激しさを増すと予想されます。

したがって、これから人類には新しいエネルギー源の確保という大きなチャレンジが待ち受けています。私達が今出来ることは豊富にある化石燃料のありがたさをよく理解し、無駄をなるべく少なくし大切に使うて行くことです。私は、人類はいずれ化石燃料に頼らないエネルギー源を確保しさらに素晴らしい未来を創り出すことができると信じています。これは次の機会にお話ししたいと思います。（物理学者 PPPL）